

アライグマ捕獲地点評価基準

この捕獲地点評価基準はアライグマの捕獲予定地をチェックシート式に評価するものです。予定地付近にアライグマが出没する環境要素が多いほど捕獲しやすいと評価するものです。予定地を中心に半径500～600mの円周内を目安にチェックしてください。評価の前提として環境要素の「痕跡」と「水環境」がチェックできたら下のチェックポイントに進めます。合計13～14点以上で捕獲の可能性が高まります。

環境要素		捕獲地点付近の環境要素の特徴・条件	チェック (○)
痕跡	けもの道	捕獲地点付近にアライグマと思われる野生動物が通った獣道ができています。	
	足跡や爪痕	付近の畑や田んぼ等にアライグマの足跡がある。また、建屋の柱や壁などに足跡や爪痕が残っている	

痕跡のいずれかに○がついたら下に進む

水環境	用水路	用水路内に泥が堆積していたり、水位が高すぎず10～15cm程度の滞水があり、水生の生物が生息しているような用水路である。	
	小川・小流	山林や丘陵地帯で水が集まり水流となったものがある。	
	河川	移動経路となる河川が付近にある。	
	湖沼・調節池	湖沼や調節池など抽水植物が豊富で水生の生物が沢山いる環境が付近にある。ただし、コンクリートでできたプール状の農業用貯水池は含めない	

水環境のいずれかに○がついたら下に進む

建屋	廃屋・空き家	付近にアライグマが侵入する可能性がある廃屋や空き家がある。	
	畜舎・廃畜舎	付近に畜舎や使われていない廃畜舎がある。	
	屋敷林のある建屋	付近に屋敷林や庭木がある建屋がある。手入れのあまりなされていない林や藪の様な状態になっているとよりアライグマが住み着いている可能性が高い。	
	物置・納屋	アライグマが侵入しやすい隙間が多く、手入れや人の出入りが少ない物置や納屋などがある。	
遊休地	ヨシ群落・オギ群落・ススキ群落	水田が遊休地化したヨシ群落やオギ群落、ススキ群落がある。水田地帯の遊休地や河川沿いで湿地のような環境がある。	
	雑草群落化した盛り土	雑草に覆われた盛り土がある。経年した盛り土は雑草が繁茂し、最終的にクズに覆われることが多い。	
	荒れ地・藪	畑が遊休地化し、イネ科を中心とした雑草が繁茂した藪がある。ササが群生した遊休地もアライグマの生息地になる。また、長期にわたり遊休地化した藪で、灌木が生えている荒廃農地のような環境が付近にある。	
樹林地	雑木林	付近に丘陵地や公園、学校等の施設の敷地にある樹林地がある。また樹種はスギ・ヒノキの針葉樹ではなく広葉落葉樹である。造園を営むための植木が植栽されている場所も含める。	
	竹林	放置された竹林がある。	
	河畔林	河川沿いにヤナギ等の河畔林がある。	
耕地	畑	付近に用水路や林に面した畑や果樹園がある。	
	田	付近に用水路や林に面した水田がある。	
その他	産業廃棄物集積所	産業廃棄物などを集積している中間処理施設が付近にある。	
	廃工場・廃車集積場	人が立ち入らない廃工場や廃車を集積している施設が付近にある。	

合計点(○の数) ※13～14点以上なら捕獲の可能性は高い



まずは、痕跡を見つけて、その次に水環境をチェック！！

水環境に〇がついたらその他の項目に進みましょう。



爪痕



足型



足跡